

□ 平成23年度グリーンスクール表彰校（11校）

（1）川西市立陽明小学校（ようめい）小学校

「子どもたちと一緒にエドヒガンを守る～^{たに}溪の桜を守る体験学習～」



校区内に群生する希少種のエドヒガンザクラを保護するため、周囲の里山を含めて森と溪の景観の回復に取り組んでいる。地域の「溪の桜を守る会」の協力を得て、群生地上部のアカマツ・コナラ林をハサミやノコギリで整備したり、エドヒガンザクラの苗床の作り方や土づくりをしたりした活動に取り組んでいる。これらの取組により、子どもたちは、自然を五感で感じ、地域の森に愛着を感じている。また、将来

のエドヒガンザクラ植生地を作るなど、地域に親しみのもてる明るい森づくりの推進に大きく寄与している。

（2）三田市立すずかけ台（すずかけだい）小学校

「どんぐりから、身近にある自然環境と人間の関わりを知る。」

熊が町に現れ、人に危害を加える報道をきっかけに、3年生の児童が様々な視点に立って調査・研究を行った。その結果、どんぐりの不作やキクイムシの大量発生によるナラ枯れが原因で、熊のえさが少なくなり、熊がえさを求めて町にやってきたことや、人間が森を開発したことにより熊の生息域がなくなっていることに気づいた。そこで、どんぐりを実らせることで、自然保全と修復に寄与しようと考え、

どんぐりを拾い、どんぐり銀行に貯金し、どんぐりのなる木の苗を手に入れ、三田中央公園に植樹を行っている。これらの取組により、身近な自然環境に進んでかかわり、自然環境を守ろうという意識が育ってきている。



（3）小野市立河合（かわい）小学校

「かわいの自然の魅力を発信しよう！（川・田畑・里山）」



学校周辺は、田畑が広がり、稲作や小麦・野菜等の栽培がさかんで、クロメダカが生息し、ホタルが飛び交うといった自然環境に囲まれており、地域のボランティアサポーターと連携して、河合の里の魅力を再発見する取組を行っている。3年生では、鮎の放流、大豆の栽培や里山の観察を通して、命の尊さや自然のすばらしさを体験的に学んでいる。4年生では小麦の栽培、6年生を中心にクリーンエコ（廃品回収活動）、

各学年で栽培した食材を使った調理等、発達段階に合わせた様々な体験活動に取り組んでいる。

(4) 赤穂市立有年(うね)小学校

「地域の緑や自然をわたしたちで守り育てよう」

校区にある西有年共有林は、地元の自治会である「赤穂森のクラブ」が管理をし、枝うち、間伐、間伐材の活用、木工細工等を行っている。地域の方々の活動に参加し学んだことを生かしながら全校で環境学習を行っている。3年生では、里山での動植物の生態や暮らしの観察、枝うち体験や植林、木工クラフトを行っている。4年生では、ピーマン栽培・観察活動、5年生で稲の栽培、6年生で緑のカーテンづくりに取り組んでいる。これらの取組は、人と人とのつながりを身近に感じ、自然を守る大切さやこれからの課題などについて考えるよい機会となり、自分たちの地域に対する深い愛着や思いにつながっている。



(5) 香美町立小代(おじろ)小学校

「たんけん！発見！わたしたちの矢田川！！」



校区には矢田川の源流があり、そこには多くの生き物や希少生物が生息している。現在、子どもたちと身近な自然との関わりが希薄になり、地域の「もっと矢田川のことを知って欲しい」「いろいろなことを体験させてやりたい」という願いをきっかけに、うなぎの稚魚の放流や、水生生物・サンショウウオ探し、魚釣り等の体験活動を行っている。これらの体験活動後、地域の方の話から川の仕組みや美しさについて学び、自然を守ることの

大切さを学んでいる。また、地域社会について学ぶ社会科の学習と関連させたり、PTCA事業の一つとして10年以上にわたり矢田川の清掃を行ったりしている。これらの取組により、ふるさとの豊かな自然環境について学び、生命の尊さや環境保護に対する意識を高めることにつながっている。

(6) 朝来市立系井(いとい)小学校

「心安らく環境づくりと、自然とふれあう環境体験活動の推進」

ゴミやエネルギーに係る環境問題について体験的に学習に取り組んでいる。リサイクル運動として自分たちで作った腐葉土を用いた朝顔の種まきや、親子共同で行う廃物利用のリサイクル工作、家庭での環境への取組「我が家のもったいない運動」等がある。また、自然や命を大切にしようとする心を育むために、豊かな自然とふれあう学習園での栽培、稲作体験、花壇の整備、水辺の生き物観察等の体験活動を行っている。さらに、校庭の芝生化も行われ、自然に親しむ環境が整備されている。これらの取組により、省エネについて見直す機会となったり、エネルギーの大切さに気づいたり、身近な川に関心を持ち大切にしていこうという気持ちが芽生えたりと、子どもたちの環境に対する意識が高まるとともに、家庭や地域の環境への関心も高めている。



(7) 篠山市立篠山(ささやま)小学校

「オオムラサキが舞い続ける篠山の町へ ~オオムラサキ復活プロジェクト~」



校区での町づくり事業による竹藪再生に取り組んでいる過程で、国蝶であるオオムラサキの生育に適する大きなエノキの木が数本見つかる。そのことを機に、地域住民と児童が一体となって、オオムラサキの飛び交う町づくりをめざした復活プロジェクトに取り組み、高学年を中心にオオムラサキの生育調査や、飼育、放蝶活動、地域の方も参加する総合発表会などを行っている。これらの取組により、地域の方々への感謝の気持ち、地域を愛し誇りに思う心が育ってきている。

(8) 南あわじ市立御原(みはら)中学校

「みんなのために！地域のために！国名勝「慶野松原」環境保全活動」

校区には国指定文化財の記念物「名勝」である「慶野松原」があり、そこには兵庫県レッドデータブックの地質(地質・岩石)でBランク、自然景観(海岸景観・砂浜・松原)でBランクの貴重な自然が残っている。そこで、ゴミなどで汚れた海岸をきれいにして、訪れた方に気持ちよく過ごして帰ってもらおうと、昭和41年から生徒会を中心に松原清掃を始めた。その伝統ある取組を受け継ぐとともに、松を種から育て植林したり、植林した松を守るために地域の人とともに松の根元の枯れた松葉をきれいにする「すくずかき」の作業を行ったりしている。これらの取組により、生息する生物の増加や、松林の復元など、地域の環境の復元・保全に大きく貢献している。



(9) 兵庫県立尼崎北(あまがさききた)高等学校

「地域とともに地球環境について学び考えることができる人材の育成」



環境の創造として、雨水を集めて再利用する「グローバル・ダム」、屋上ソーラーパネルによる自家発電、風力発電によるクリーン・エネルギーの創造などに取り組んでいる。校内の環境保全として、琉球アサガオを用いた壁面緑化や屋上庭園などの校内緑化に取り組んでいる。さらに、高大連携を図り、環境問題を地球規模で考え、地元地域社会でいかに行動するかという考え方を学んでいる。これらの取組により、昨年度環境省後援の全国高校生エコ・アクション・プロジェクトにおいて表彰され、高く評価されている。

(10) 兵庫県立上郡（かみごおり）高等学校

「千種川の環境啓蒙活動と地域緑化による環境教育の推進」

清流千種川のほとりにある農業科、園芸科、農業土木科を併設する高校として、学科の特性を生かした日本固有の絶滅危惧種「チスジノリ」の調査や保護活動、希少生物「オチフジ」の栽培・組織培養による増殖、千種川の水質や水生生物調査等に取り組んでいる。これらの取組により、生徒たちに、地域の方と協力し身近な環境保全・環境改善の取組を継続して行っていこうという意識が芽生え、現在、希少種の保護活動では地域環境保全活動の一翼を担っている。また、クリーン・アップ作戦や地元の幼稚園児、小中学生に農業体験の場を提供するなど地域環境に貢献する活動に取り組んでいる。



(11) 兵庫県立篠山産業（ささやまさんぎょう）高等学校

「地域の緑化活動、交流活動、環境活動に積極的に取り組む」



生徒が主体的に通学に利用するJR駅及びその周辺の清掃と緑化活動を行っている。また、生活科では、「種まきから食卓まで」を合言葉に、公共施設の花壇の緑化や、近隣の幼稚園・小学校とのサツマイモ・水稻・ブドウ栽培をとおしての交流、老人ホームとの福祉交流を通じ、地域の中で環境教育を推進している。また、近隣の高等学校、ロータリークラブと協力して、淡路島のモンキーセンターへ安全なサツマイモを送る取組をしてい

る。これらの取組により、地域への感謝の気持ちを表し、身近な環境に関心を高めるとともに、地域環境に大きな貢献を果たしている。

□ 平成23年度グリーンスクール奨励賞表彰校（4校）

（1）明石市立谷八木（たにやぎ）小学校

「谷八木の自然、再発見！ ～海の生き物観察とアマモ栽培を通して～」



昔たくさん生息していた「海のゆりかご」と呼ばれるアマモについての調べ学習や観察、栽培活動を通して、アマモ場の大切さや必要性を学び、アマモの群生を復活させ、谷八木の海を豊かな海に再現するために取り組んでいる。これらの取組により、子どもたちは地域の自然環境保全の大切さに気付き、自分たちが地域の自然を守るという自覚が芽生えている。

（2）姫路市立大塩（おおしお）小学校

「ふるさと大塩の自然に親しもう」

校区に日本一ののじぎくの群生地があり、地域の方の群生地復活のための熱い思いにふれ、地域の方とともに、のじぎくを植え、育てる活動を行っている。また、昔から生活と結びつきの強い地元の海に目を向け、地域の方の話を聞いたり、いきものを観察したりしている。これらの取組により、身近な環境に関心を持ち、海を守りたいという気持ちやふるさとの自然を愛する気持ちを育てている。



（3）福崎町立高岡（たかおか）小学校

「高岡の里が育む生き物を調べたり、育てたりしながら命を感じよう」



自然環境の豊かな高岡の地域を守るために、自然を知る活動が大切と考え、身近な里山の生き物観察、七種川水質検査、地域の方からの高岡の里山についての講話、さらには環境問題の調べ学習などを実施している。これらの取組により、子どもたちは、地域の貴重な自然環境に気づくとともに、どうすれば生き物を守れるかを考えたり、自分たちの生活を見直したりと、ふるさとの自然環境を守りたいという心が芽生えている。

（4）洲本市立洲本第二（すもとだいに）小学校

「育め日進の子」～洲本の自然と歴史を守る～

校区には洲本大浜・千本松と呼ばれる黒松が茂る美しい海岸があり、毎年ボランティアの方々とともに清掃を行っている。また、絶滅危惧種のカスミサンショウウオの孵化と放流や、すべての児童による菊作りの取組など、他の環境学習への広がりを持たせている。これらの取組により、地域の素晴らしい自然を知り、進んで自然環境を守っていこうとする意識を高めている。

